

简明日汉
成语辞典

中译英法

万

简明日汉成语辞典

曲礼贤 张文华编

知 识 出 版 社

内 容 提 要

本书包括日本最常用的成语和谚语5千多条,每条附简明译文,对成语和谚语作出确切解释。本书可供学日语的同志日常检索,一般读者也可以通过优美的译文,深入了解日本人民各个时代的风俗习惯和日常生活。这对实现两国人民世世代代友好下去的善良愿望,将会起到促进作用。书末附日本人民每年行事一览表。

简明日汉成语辞典

曲礼贤 张文华编

知识出版社出版

(北京安定门外外馆东街甲1号)

新华书店北京发行所发行 吉林市印刷厂印刷

开本 787×1092 1/32 印张 6.625 字数 184 千字

1982年9月第1版 1982年9月第1次印刷

印数: 1—90,000

书号: 9214·13 定价: 0.70元

前　　言

这部辞典共选收日本人民生活中常用的成语和谚语五千多条。这些成语和谚语反映了日本各个时代和各阶层人民的思想、情趣、风尚和习惯。因此，它不仅是中国学习日语和日本学习汉语的人们案头必备之书，也可供从事对日本友好往来和研究日本问题的同志们参考。如果本书能对中日两国人民友好事业作出些微贡献，编者将引为最大的荣幸。

日语和汉语一样，有许许多多的成语和谚语。无论写作或讲话，巧妙地利用成语和谚语会增添无限的情趣，使读者解颐，听者动容。对于学习日语的同志们来说，能掌握这些成语和谚语，才会深刻理解一部文艺作品、一篇理论文章甚至一条新闻报导的内容。我们相信，这部辞典虽然还很不完备，但对广大读者仍有一定的用处。

在编这部辞典的过程中，编者参考了不少日本出版的同类著作。收词分量也与日本的同类著作大致相当。曲礼贤多年从事这方面的研究工作，并积累了大量资料。本书由曲礼贤负责成语部分，张文华负责谚语部分，全稿由张文华最后加工。我们认为，译文本身就可以说明问题，所以不加注释。一个成语或谚语有两种以上意义或用法的，用“；”隔开。如日本各辞典对某一成语或谚语有相互矛盾的解释，我们按自己的理解仅取其一。许多谚语是我们创译的，不一定正确，请读者指正。

曲礼贤　张文华

1982年夏

五十音索引

あ	1	い	14	う	25	え	31	お	33
か	43	き	52	く	57	け	62	こ	65
さ	75	し	79	す	92	せ	95	そ	99
た	102	ち	111	つ	115	て	117	と	121
な	128	に	133	ぬ	136	ね	137	の	139
は	141	ひ	149	ふ	159	へ	164	ほ	166
ま	169	み	172	む	176	め	179	も	182
や	184			ゆ	187			よ	189
ら	193	り	194	る	195	れ	196	ろ	197
わ	198								

あ

6

〔合縁奇縁〕

〔間が遠なりや契が薄い〕

〔匕首に鐸〕

〔相碁井目〕

〔挨拶より円札〕

〔愛想づかしは金から〕

〔逢いたいが情、見たいが病〕

〔あいた口が塞がらぬ〕

〔あいた口には戸はたたぬ〕

〔開いた口へ牡丹餅〕

〔あいだてないは祖母育ち〕

〔相槌を打つ〕

〔相手変れど、主変らず〕

〔相手のない喧嘩はできぬ〕

〔愛は屋上の鳥に及ぶ〕

〔曖昧模糊〕

〔逢う時に笠を脱げ〕

〔逢うは別れのはじめ〕

〔青息吐息〕

〔仰いで睡はく〕

〔仰いで天に愧じず俯して地に愧

じず〕

有缘相亲，棒打难分。

别久情疏。

驴头不对马嘴；不搭配。

行行技艺有高低。

嘴再甜，不如钱。

床头金尽，鸳鸯易分。

欲治相思病，唯有见卿卿。

目瞪口呆。

防口有如防川。

天上掉下馅饼来。

奶奶的宝贝，任意而为。

随声附合。

管他千变万变，我有一定之规。

一个巴掌拍不响。

爱屋及乌。

含含糊糊；模棱两可。

见人要脱帽，良机不放掉。

有聚必有散；天下没有不散的筵席。

〔佛〕会者定离。

长吁短叹。

自作自受；害人害己。

仰不愧天，俯不愧地。

[青柿が熟柿弔う]	五十步笑百步。
[秋風が立つ]	昨日甜似蜜，今朝变冤家。
[青き眼]	青眼；青盼；垂青。
[青白インテリ]	白面书生。
[青筋を立てる]	青筋暴露。
[青田から飯になるまで水かげん]	从种田到烧饭，全看水的加减。
[青たたみを敷いたよう]	风平浪静，水波不兴。
[青菜に塩]	垂头丧气；萎靡不振；无精打采。
[青は藍より出でて藍よりも青し]	青出于蓝而胜于蓝。
[青葉は目の薬]	草木青青，眼皮轻松。
[赤犬が狐を追う]	不分轩轾。
[赤くなる]	面红耳赤。
[足搔が取れぬ]	进退两难。
[足搔がつかぬ]	一筹莫展。
[赤子の腕をねじる]	以强凌弱；轻而易举。
[証が立つ]	证明清白无辜。
[飽かぬ仲]	如胶似漆。
[上がって三代下がって三代]	上下过三代，当亲亦不亲。
[赤の他人]	陌生人。
[あが仏尊し]	自以为是；唯我独尊。
[上がり口が高い]	门坎儿高。
[垢を脱ぐ]	衔冤昭雪。
[秋高く馬肥ゆ]	秋高马肥；秋高气爽食欲旺。
[空き樽は音が高い]	饭袋酒囊，叫得最响。
[商い三年]	买卖赚钱，总得三年。
[商いは牛の涎]	要发财，慢慢来。
[商いは数でこなせ]	薄利多销，收益倒高。
[商いは正直が第一]	要做生意，正直第一。

- [商いは本にあり] 无本不能图利。
- [商い店は古いがよい] 脣子越老，商店越好。
- [秋なすび嫁に食わすな] 秋天茄子凉，不给儿媳尝。
- [秋の一日千日] 秋收一天，赛过三年。
- [秋の扇] 秋扇见捐。
- [秋の鹿は笛に寄る] 雪后麻雀，容易上套。
- [秋の空は七度半変る] 人心多变，有如秋天。
- [秋の日は釣瓶落し] 秋阳如吊桶，转眼沉西天。
- [空物は容物] 见缝插针；有空就钻。
- [空家で声嗄らす] 徒劳无益。
- [諦めは心の養生] 心宽体胖。
- [商人に系図なし] 商人不在出身好，要看手腕巧不巧。
- [商人の売り先、買い先は父母兄弟] 买卖总要和气，如对父母兄弟。
- [弟の如くせよ] 商人嘴里没真话。
- [商人の空誓文] 商家小儿郎，爱听算盘响；近朱者赤，近墨者黑。
- [商人の子は算盤の音で目をさます] 妻子不贤，倒楣百年。
- [悪妻は百年の不作] 娶个坏老婆，三代不得活。
- [悪妻は六十年の不作] 好事不出门，坏事传千里。
- [悪事千里を走る] 丑婆子送秋波，盛情消受不得。
- [悪女の深情] 作恶必有恶报。
- [悪事身にかえる] 丑姑娘不爱菱花镜。
- [悪女は鏡を疎む] 恶人文过饰非，贤者知过即悔。（贝原益轩的名言）
- [悪人は過ちてはその弁解をなし、善人は過ちてはその過ちを過ちとす] 不义财，跑的快。
- [悪錢身につかず] 口出不逊。
- [悪態をつく]

[悪に強ければ善にも強い]	作恶顶破天,从善也拔尖。
[悪の裏は善]	祸中有福。
[灰汁の下げ汁も捨て場所がある]	物各有其用。
[悪の易きや火の原を焼くが如し]	错误放任不管,有如野火燎原。
[飽く迄食べて寝れば牛になる]	饱食终日,头脑昏昏。
[悪をすれば淵に入る]	人要坏,身必败。
[安坐で川]	唾手可取。
[揚足をとる]	吹毛求疵; 抓话把儿; 抓辫子。
[挙げ句の果て]	最后; 终于; 归根结蒂。
[上げ下げを取る]	忽而说好,忽而说坏。
[上げつ下ろしつ]	又褒又贬; 一涨一落。
[上げ舟に物を問え]	问路先寻好心人。
[あごが落ちる]	格外好吃。
[あごが乾上がる]	难以生存。
[頸から先に生まれる]	能说善辩。
[阿漕が浦に引く網]	常做坏事,必有人知。
[頤食いちがう]	语多必失。
[あごで人を使う]	颐使他人。
[あごを撫でる]	心满意足; 洋洋得意。
[あごを出す]	疲惫不堪。
[朝商いは福を呼ぶ]	早早开店门,必有福神临。
[朝紅は雨、夕紅は日和]	早霞有雨晚霞晴。
[朝雨に傘いらす]	早晨雨,下不长。
[朝雨は女の腕まくり]	女人发脾气,雷大雨点稀。
[朝雨博奕裸のもと]	先赢莫张狂,后局会输光。
[朝謡は貧乏の相]	早起瞎叫,必要倒灶。
[朝恵比寿に夕大黒]	早起拚命干,夜间面团团。
[朝起きは三文の徳]	天天起得早,必有三分好。

[あさお いえ ふくま]
〔朝起きの家には福来たる〕

早起人家福临门。

[あさがお はなひととき]
〔朝顔の花一時〕

昙花一现; 好景不长。

[あさ だちん]
〔朝がけの駄賀〕

轻而易举; 不费吹灰之力。

[あさかみなり かわわた]
〔朝雷に川渡りするな〕

早听雷声, 切莫远行。

[あさかゆ ながのれん]
〔朝粥かくしの長暖簾〕

早晨喝米汤, 门帘拉得长。

[あさ かわ むか かた]
〔浅き川も深く渡れ〕

小心谨慎, 不可粗心。

[あさぎり あめゆうぎり はれ]
〔朝霧は雨夕霧は晴〕

早雾雨, 晚雾晴。

[あさぎけ かどた う]
〔朝酒は門田を売っても飲め〕

喝杯早酒赛神仙, 卖掉良田也心甘。

[あさせ あだなみ]
〔浅瀬に仇浪〕

越是臭皮囊, 越是叫的响。

[あさだいもく ゆうねんぶつ]
〔朝題目に夕念佛〕

没有主见; 忽东忽西。

[あさって こうや ばん かじや]
〔あさって紺屋に晚鍛冶屋〕

不守信用。

[あさで ちんぱ せ]
〔朝出た跛には追いつかぬ〕

有志者, 事竟成。

[あざな なわ]
〔糾える縄〕

福无双至, 祸不单行。

[あさ こと ばん]
〔朝にある事は晩にもある〕

太阳底下无新事。

[あさ つ よもぎ]
〔麻に連るる蓬〕

近朱者赤。

[あさねぼう よい ぱ]
〔朝寝坊の宵張り〕

早晨好睡懒觉, 晚上活蹦乱跳。

[あさ いちじ ばん じじ あた]
〔朝の一時は晩の二時に当る〕

早晨工作效率高; 赶早不赶晚。

[あさ いのち]
〔朝の命〕

朝不保夕。

[あさ]
〔麻のごとく〕

其乱如麻。

[あさ なか よもぎ]
〔麻の中の蓬〕

跟着好的学好, 跟着坏的学坏。

[あさのぴっかり しゅうと から]
〔朝のぴっかり姑の笑い〕

早晨的晴天, 婆婆的笑脸; 瞬时多变。

[あさね もの ひんぱうじょう]
〔朝寝する者は貧乏性〕

睡懒觉, 必受穷。

[あさひ にし で]
〔朝日が西から出る〕

太阳从西边出来。

[あさふろ あんせんなんがひばち]
〔朝風呂丹前長火鉢〕

过舒坦日子。

[あさみ はな ひととか]
〔薊の花も一盛り〕

十七八的丑姑娘, 也会象鲜花一样。

[あさむらさき ゆうくれない]
〔朝紫に夕紅〕

美哉山景, 朝紫夕红。

[あさめしまえ]
〔朝飯前にはできぬ〕

事情没那么容易。

〔朝焼けはその日の洪水〕

朝霞有雨。

〔朝夕の煙〕

日常生活; 生活琐事。

〔朝湯と親の仇は未まで残る〕

早晨洗个澡，一天精神好。

〔麻を荷うて金を捨つ〕

舍本逐末；丢下西瓜捡芝麻。

〔足が重い〕

步履维艰。

〔足が地につかぬ〕

战战兢兢；手舞足蹈。

〔あしかの番〕

替换着睡。

〔足が早い〕

走得快；食品坏得快；畅销。

〔足が棒になる〕

疲惫不堪。

〔足駄片足に草履片足〕

慌手慌脚；不相配合。

〔朝に紅顔あって夕に白骨となる〕

人生如朝露；朝有红颜夕白骨。

〔朝には富児の門をたたき、暮には肥馬の塵に隨う〕

朝叩富儿门，暮随肥马尘。

〔朝に星をかずく〕

披星戴月。

〔朝に道を聞けば夕に死すとも可なり〕

朝闻道夕死可矣。

〔朝に夕を謀らず〕

朝不虑夕。

〔朝夕べに及ばず〕

朝不保夕；急不可待。

〔味ない物の煮太り〕

质次量多。

〔足なえ起つことを忘れず〕

腿脚不好，总想快跑。

〔味な事をやる〕

干得漂亮。

〔足の裏を搔く〕

愚弄；要戏。

〔葦の鼈から天井を覗く〕

坐井观天；一孔之见。

〔足踏み立てぬ世の中〕

世路艰难。

〔足元から鳥が立つ〕

突如其来。

〔足下に火がつく〕

大祸临头；燃眉之急。

〔足下にも寄り付けぬ〕

望尘莫及。

[足下につけこむ]	抓住弱点;乘人之危。
[足もとの鳥は逃げる]	丈八的灯台,照远不照近。
[足下の明るいうちに]	事不宜迟。
[足下を見られる]	被人抓住短处。
[足下を見る]	看人下菜碟。
[阿闍梨死して事欠けず]	死了大和尚,庙里也撞钟。
[網代の魚]	瓮中之鳖。
[味を占める]	尝到甜头儿。
[足を知らずして履を為る]	融会贯通。
[足を擂粉木にする]	疲于奔命。
[足を出す]	露出马脚。
[足を付ける]	搭上关系;挂上钩。
[足を抜く]	断绝关系。
[明日ありと思う心の仇桜]	明日樱花红,谁知今夜风。
[飛鳥川の淵瀬]	变幻无常。
[預り物は半分の主]	东西存在这里,就有一半权利。
[小豆と女のしょっぱいのには手 がつかぬ]	小豆不煮不会烂,女人放刁最难缠。
[小豆の豆腐]	小豆作豆付,天下哪里有。
[明日は明日、今日は今日]	今朝有酒今朝醉。
[明日の事は明日案じよ]	今天不想明天事。
[明日の事を言えば、鬼が笑う]	不谈今日谈明日,小鬼也会笑你痴。
[明日の百より今日の五十]	明天能得一百,不如今天五十;天上 的仙鹤,不如手中的麻雀。
[明日は明日の風が吹く]	做一天和尚撞一天钟。
[東男に京女]	郎才女貌;才子佳人。
[あずり貧乏人宝]	种树苦劳,他人摘桃。
[汗出でて背を沾す]	无地自容。

〔遊びに師なし〕	吃喝嫖赌，无师自通。
〔価を二つにせず〕	言不二价。
〔当たって碎けよ〕	自古成功在尝试。
〔寇に兵を籍す〕	助敌害己。
〔仇は恩で報ぜよ〕	以德报怨。
〔頭が上がらない〕	抬不起头来；窝窝囊囊。
〔頭が下る〕	佩服。
〔頭が低い〕	谦虚。
〔頭隠して尻隠さず〕	藏头露尾；欲盖弥彰。
〔頭から水を浴びたよう〕	冷水浇头，凉了半截。
〔頭が回る〕	脑筋灵活。
〔頭剃らんより心剃れ〕	革面不如革心。
〔頭でっかち尻すぼみ〕	虎头蛇尾。
〔頭の上の蠅も追われぬ〕	连头上的苍蝇都赶不走；无能之辈。
〔頭の天辺から足の爪先まで〕	从头到尾；全部。
〔頭禿げても浮気はやまぬ〕	人老心不老。
〔頭の黒い鼠〕	家贼难防。
〔頭を上げる〕	发展壮大。
〔頭を搔く〕	抓耳挠腮。
〔頭を悩ます〕	苦恼。
〔頭を持上げる〕	抬头；得势。
〔仇も情も我が身より出る〕	是爱是憎，出我心中。
〔新しい酒を古い革袋に入れる〕	旧皮囊盛新酒。
〔中らずといえども遠からず〕	虽不中不远矣。
〔新しい草鞋を鍋取りに使う〕	世间一切事物，各有各的用途。
〔当たらぬ先の矢ごたえ〕	不可指望。
〔あたらぬ蜂にはさされない〕	咎由自取。
〔辺りに入なきがごとし〕	毫无顾及。

[当る罰は薦着ても当る]	天理昭昭，有罪难逃。
[当るも八卦、当らぬも八卦]	算命的摆八卦，灵不灵都是他；不可指望。
[当るを 幸]	顺手牵羊；碰着什么是什么。
[仇を恩で報いる]	以德报怨。
[あちら立てればこちらが立たぬ]	顾此失彼。
[熱い物は冷め易い]	热的早，冷的快。
[呆気にとられる]	吓得目瞪口呆。
[厚皮面火に懲りず]	脸皮厚，戳不透。
[篤く信じて学を好む]	笃信好学。
[暑さ寒さも彼岸まで]	热到秋分，冷到春分。
[暑さ忘れて蔭忘る]	忘恩负义；只知今日甜，忘却旧时苦；小人得第，忘其所以。
[合った釜に似よったふた]	情投意合。
[あってなきがごとし]	有也行没有也行；无用之物。
[あってもあられぬ]	无以自容。
[集めて大成す]	集腋成裘。
[羹に懲りて膾を吹く]	一旦热汤烫了嘴，见到凉水也要吹。
[あてが外れる]	希望落空。
[当て事は向うから外れる]	一个希望，百个失望。
[当てどもない]	毫无目标；忐忑不安。
[後足で砂をかける]	过河拆桥。
[跡追う子に引かれる]	欲离其夫，难舍其子。
[後先になる]	前后颠倒。
[後先見ずに]	不顾前后。
[跡白波と消え失せる]	渺无音信。
[後の雁が先になる]	后来居上。
[後の喧嘩さきにする]	丑话说在前头。

[後の喧嘩はゆっくりせよ]	有话不必忙,过后慢慢讲。
[後の祭]	雨后送伞。
[後へも先へも行かぬ]	停滞不前。
[あとは野となれ山となれ]	不管三七二十一。
[あとを引く]	没完没了。
[迎合を打つ]	阿谀奉承;随声附和。
[穴があれば入りたい]	无地自容。
[穴蔵で雷聞く]	躲在洞里听雷声,小心过甚。
[彼方を祝えば此方の怨み]	讨好东家,得罪西家;事难两全。
[侮り葛に倒れすな]	平地也会摔大跤。
[穴の貉を値段する]	未捕貉,先卖皮;事情还八字没一撇
[穴を開く]	儿呢!
[穴を埋める]	拉亏空。
[兄貴風]	填补亏空。
[姉女房は子ほど可愛がる]	摆长辈的架子。
[姉女房は身代の薬]	妻大如母恩爱深。
[あの声で蜥蜴食うかや時鳥]	老婆大,能当家。
[あの世千日この世一日]	知人知面不知心。
[痘痕も髣]	极乐世界千日,不如今生一天。
[阿付迎合]	情人眼里出西施。
[あぶない事は怪我のうち]	阿谀奉承。
[危ない瀬渡りをする]	君子不立危墙下。
[危ない橋を渡る]	铤而走险。
[虻蜂取らず]	干冒风险。
[脂が乗る]	东抓西抓,功夫白搭。
[油盡きて火消ゆ]	干得起劲;兴致勃勃。
[油壺から出たよう]	油干灯灭。
	貌如潘安。

[脂に書き氷に鏤む]	前功尽弃。
[油に水]	水火不相容。
[油に水の混じりたるよう]	水火不相容。
[油を賣る]	偷懒，耍滑。
[油を差す]	加油；鼓励。
[油を絞る]	教训一番；惩治一回。
[阿呆正直糞横着]	傻子也有好坏人。
[阿呆力に啞器用]	哑巴有鲁班，傻子出好汉。
[阿呆につける薬はない]	白痴无药可治。
[阿呆の足下使い]	窝工浪费，等于犯罪。
[阿呆の鳥好き、貧乏の木好き]	呆子养小鸟，穷人爱花草；无用的嗜好。
[阿呆の鼻毛で蜻蛉をつなぐ]	混蛋加三级；愚蠢至极。
[阿呆の一つおぼえ]	一条道跑到黑；死心眼儿；钻牛角尖儿。
[阿呆は風邪引かぬ]	糊涂虫，没有病。
[甘い汁を吸う]	捞一把。
[甘い酢では行かぬ]	不能一条道走到黑。
[尼御前の紅]	尼姑抹口红，身分不相应。
[餘すところなく]	全部。
[雨垂れ石を穿つ]	水滴石穿。
[雨垂れは三途の川]	家门外，陷井在。
[あまの命を拾う]	拣了一条命。
[天の邪鬼]	硬面饽饽；杠子头；事事唱反调。
[甘やかし子を捨てる]	惯养娇生，儿女命终。
[雨夜の月]	雨夜望嫦娥，有也看不清。
[あまりうまくて啞叫ぶ]	香得连哑吧吃了都叫好。
[あまり圓きはころびやすし]	骨头少，易跌跤。

〔あまり物に福あり〕	剩货好的多。
〔編み笠一蓋〕	一无所有。
〔阿弥陀の光も錢次第〕	有钱能使鬼推磨。
〔網呑舟の魚を漏らす〕	网小漏大鱼。
〔網にかかった魚〕	网里的鱼，跑不了。
〔網無うて淵をのぞくな〕	平日不结网，莫到江边站。
〔網も破らず、魚も洩らさず〕	谨言慎行；滴水不漏。
〔雨霰と降る〕	像雨点一样飞下来。
〔黄牛に突かれる〕	老牛急了必顶人。
〔雨が降ろうと槍が降ろうと〕	别说下雨，下刀子也不怕。
〔雨に沐し風に櫛けする〕	栉风沐雨。
〔雨の筈〕	雨后春笋。
〔雨の降る日は天気が悪い〕	理所当然；用不着说。
〔雨は花の父母〕	雨露滋润禾苗壮。
〔雨晴れて笠を忘れる〕	忘恩负义。
〔雨降って地固まる〕	不打不相识；不打不成交。
〔飴を食わせる〕	给一点甜头吃。
〔危うきこと累卵の如し〕	危如累卵。
〔過ちては改むるに憚ること勿れ〕	过勿惮改。
〔過ちて改めざる是を過という〕	过而不改是谓过。
〔過ちをかざる〕	文过饰非。
〔荒い風にも当てずに育てる〕	娇生惯养；精心抚养。
〔荒馬の轡は前から〕	克服千难万难，必须大胆上前。
〔粗木に弦をはぐが如し〕	轻而易举。
〔荒肝を拉ぐ〕	夺魂丧胆。
〔あらしに港をえらばず〕	没有选择余地；别无出路。